



ぬくもり

旭川市神居1条17丁目 Tel 62-2932

令和 2 年 12月 2日発行 第 8 号

コロナウイルス感染症拡大防止に向けて

校長 澤田 匡史

皆様ご存じのとおり、11月に入り旭川市内で新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生しています。

そこで、校内での感染拡大を防ぐために、これまで行ってきた「子どもたちと教職員の健康観察」「徹底した手指消毒」「三密回避」「マスク着用」「換気の徹底」「共有物やドア等の消毒」「給食時の会話の制限」等を今後も徹底します。「換気」については、特別教室(グラウンド側教室)や廊下の窓から外気を校内に取り入れ、普通教室の換気扇や窓から排気する方法で、常時、換気しています。加えて、「加湿器」を各教室に1台設置しました。

また、先日、文書と連絡メールでお知らせしたとおり、12月初旬に予定していた「参観日」を中止としました。保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。保護者個人懇談については、「ソーシャルディスタンス」を保ったうえで実施します。「お楽しみ集会」については、3学期に延期としました。期日は未定です。

保護者の皆様には、毎日の「健康観察」等で多大なるご協力をいただいておりますことに、この場を借りて心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

今後も万全の感染症対策を講じ、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、教育活動の充実を図ります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

子どもが育つ魔法の言葉

「子どもは、スポンジのように親の言葉や行動をすべて吸収し、学びます。親が真似してほしくないと思っていることも、覚えてしまいます。」

ドロシー・ロー・ノルトさんの著書「子どもが育つ魔法の言葉」の冒頭の文章です。この本には、世界中の親たちを励ましてきた、個性豊かでくじけない子どもを育てるための知恵と言葉が満載です。私は、教員として、親として、この本を何度も読み返してきました。親という言葉や「教師」に置き換えて読んだこともありました。

今号では、同書に掲載されている「子は親の鏡」という詩を紹介いたします。

子は親の鏡

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
親が他人をうらやんでばかりいると、子どもも人をうらやむようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思う
励ましてあげれば、子どもは、自信をもつようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
ほめてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

